



地方での情報教諭として ～3年間の歩み～

宮崎西高等学校 情報科

山口 将人 (yamaguchi masahito)

伝えたいこと

1. 地方の現状

2. 授業の取組

3. 情報教諭に求められているもの

1年目（初任）

- 5年間の常勤講師（公民）を経験し、
やっと採用試験に合格
本県第一号となる情報教員
- やる気に満ちて宮崎西校へ

しかし...

- 一カ月で心をおられる...

1年目（初任）

共通教科「情報」

- 私を含め、4人で担当
 数学2名 物理1名
- 教科代表者になる
- 担当していただく先生方にとって、
負担の教科であることを実感
- 指導内容を計画し、先生方に「教科
情報とは何かを」示していく立場

1年目（初任）反省

- 共通教科「情報」について勉強不足
- 何を伝えていくのか理解していない
- 教科「情報」について教えてもらえ
ると甘い考えをしている
- 先生方の負担を減らすことに努力し
ていた
- 生徒が何を理解し、何を理解してい
ないを把握する努力をしていない

1年目（初任）課題

1. 共通教科「情報」を学ぶ意義を
生徒、担当職員に示す
2. 生徒の授業内容の理解度をチェックする
3. 実習の充実
4. 他教科との連携
5. 映像の活用

2年目 挑戦

1. 教科「情報」を学ぶ意義を生徒、担当職員に示す

情報の授業とは

○必須科目 共通教科「情報」

- 情報及び情報技術を活用するための知識と技能の習得
- 情報に関する科学的な見方や考え方を養う
- 社会の中で情報及情報技術が果たしている役割や影響を理解
- 情報の進展に主体的に対応できる能力と態度を育てる

学習指導要領より抜粋

社会と情報とは？

学習指導要領より抜粋

○目標

- ・ 情報の**特徴**と情報化に及ぼす**影響**を理解する
- ・ 情報機器や通信ネットワークを**適切な活用**し、**問題解決をする能力**を養う
- ・ 情報社会での**効果的なコミュニケーション能力**を養う。
- ・ 情報社会に**積極的に参画する態度**を育てる。

極端に表現すると

ワープロや表計算、パソコンの
使い方を学ぶの
ではない

2年目 課題

1. 意味ある実習
2. 基礎基本の定着
3. 視覚的教材の活用
4. 中学校との連携
5. 情報科教員として求められる能力

3年目

2. 基礎基本の定着

情報社会で基礎基本とは何か？

→ 県教委訪問で聞かれる

コンピュータを扱える能力

コンピュータの基本的な構造の仕組み

これが答えなのか？

3年目

2. 基礎基本の定着

コンピュータを扱える能力

コンピュータの基本的な構造の仕組み



これも答えに入る

3年目

2. 基礎基本の定着 生徒の現状

- コンピュータ（パソコン）を電源を入れることができない
- ゲーム機やタブレットの電源は入れることができる
- ローマ字入力ができない
- 手入力はある

3年目

2. 基礎基本の定着

生徒の現状をふまえて

- コンピュータのオン、オフの仕方
- タイピング練習
- 各インターフェイスの接続の仕方
- コンピュータの構造の理解
- 情報モラル

以上が 基礎基本になるのではないか

3年目

5. 情報科教員として求められる能力

- ① コンピュータのトラブルを解決する能力
- ② サーバの管理能力
- ③ 成績などのデータ処理能力
- ④ ICT教育の推進

→ ①②③は県や学校から求められている能力なのか？

伝えたいこと

1. 地方の現状
2. 授業の取組
3. 情報教諭に求められているもの

ご静聴ありがとうございました。